小菅むつお

日本共産党

ごあいさつ

ご支援ありがとうございます。初めて議会にお送りいただき30年となりました。

いま暮らしが大変です。今ほど、〝暮らし守るまちづくり〟が求められているときはないと思います。

「息子が朝4時から深夜12時まで働いています。こんな状態が1年以上続いています。心配でなりません。何とかならないでしょうか」後期高齢者医療制度は、あまりにもひどい」国民健康保険料が払いたくても、高すぎて払えない」など、暮らしにかかわる多くの声が寄せられています。暮らしを破壊する政治、本当に許せません。

私は、この〝まちが好き〟です。みなさんとごいっしょに住みよいまちづくり、暮らしを支える政治に全力でがんばります。

みなさんのお力添えを心からお願い申しあげます。

暮らし・雇用・農業・憲法９条守ります

やす民報
2009年９月28日№182　発行：日本共産党野洲市委員会
日本共産党野洲市委員会は、次の見解を発表しました。

市民のみなさまへ

日本共産党の３議席は
市民の願いを届ける確かな議席です

私たちにとって身近な市議会議員選挙が始まります。いま暮らしが大変なときです。議員の役割が問われますが、みなさんはどのようにお考えでしょうか。

暮らしを守るためにみなさんと力をあわせ市政を変えます

日本共産党市議団は、暮らしの強い味方」として役割を果たし議会でも論戦をリードしてきました。市政と市議会の流れを替え、暮らし第一のまちづくりへ引き続き全力でがんばります。ご支援をよろしくお願い申し上げます

① 企業献金・政党助成金受け取らない政党だから 村田製作所にも物申せます

市議会でも、「『雇用拡大』を目的に野洲から1億1000万円の補助金を貰っている村田製作所の“派遣切り”やめよ」「年間2億もの同和関係予算やめよ」を主張してきたのは日本共産党市議団です。

このような主張ができるのは日本共産党が、財界・大企業からの献金や憲法違反の政党助成金を受け取らない政党だからです

② 議案提案権を生かし、4年間で37件の意見書を提案

日本共産党市議団は議案提案権を生かし、市民のみなさんの願いを意見書（請願）として提案してきました。その件数は37件。他の会派・議員と比較して群を抜いています。

9月議会では、日本共産党市議団が提案（紹介）の、「消費税増税反対」「日米自由貿易協定締結中止」「核兵器廃絶」「生活保護母子加算復活」を求める意見書が他会派の議員も賛成し採択。市民の願いを国に届けることができました。

③ 毎議会の内容をお知らせしてきました

日本共産党市議団は、年4回の定例市議会毎に、その内容を「市議団ニュース」や「やす民報」でお知らせしてきました。

新幹線栗東新駅建設問題では、「野洲市が2億6900万円負担やめよ」「子どもの医療費の無料化拡大を」の報道は市民のみなさんから大きな共感が寄せられ運動が発展。新幹線新駅は中止、入院医療費の無料化は中学校卒業まで広がりました。

市議会での議員の役割は

日本共産党市議団の3名は毎議会発言し 市政のチェックと市民要求実現に全力

議員の役割は、①市民のみなさんの要求を市議会に届け、その実現へがんばること。②市民の立場で市政をチェックすることです。日本共産党市議団はすべての議会で、全議員が一般質問や議案質疑を行い、願いの実現へがんばってきました。引き続き、暮らしの要求実現へがんばります。

2年連続の国保税値上げ 共産党以外の議員は全員賛成

こんなに暮らしが大変なとき、2年連続の国保税の値上げに日本共産党市議団以外の・会派・議員が賛成しました。

これでは市民の暮らしと健康は守れません。